



南武線を防災視点から見る取り組み

11月21日、ワンマン運転が計画されている南武線 鹿島田駅→向河原駅間を防災の視点で組合員と共に現地踏査しました。



南武線は、通勤時間帯になると踏切の遮断時間が長いことや、沿線には古い建物が密集した箇所が多くありました。ワンマン運転となれば、初動の避難誘導は運転士が一人で行うこととなります。災害は近年、想定を超えるものが多い中で、想定外を想定して行動しなければいけません。発災時の避難誘導の難しさや、緊急車両の通行に影響が出るのが踏査を通して感じる事が出来ました。

本当にワンマンでもツーマンと変わらない

同レベルの避難誘導が出来るのか？

人のいのちを守る取り組み

様々な視点から議論を創り出して行こう！